



ストーマケアに関連した皮膚障害発生に影響を及ぼす要因

ストーマ周囲の皮膚障害(PSC)は、ストーマ保有者が経験する最も一般的な合併症の一つです。ストーマ周囲に発生する皮膚障害における負担を軽減するために、発生要因を深く理解する必要があります。

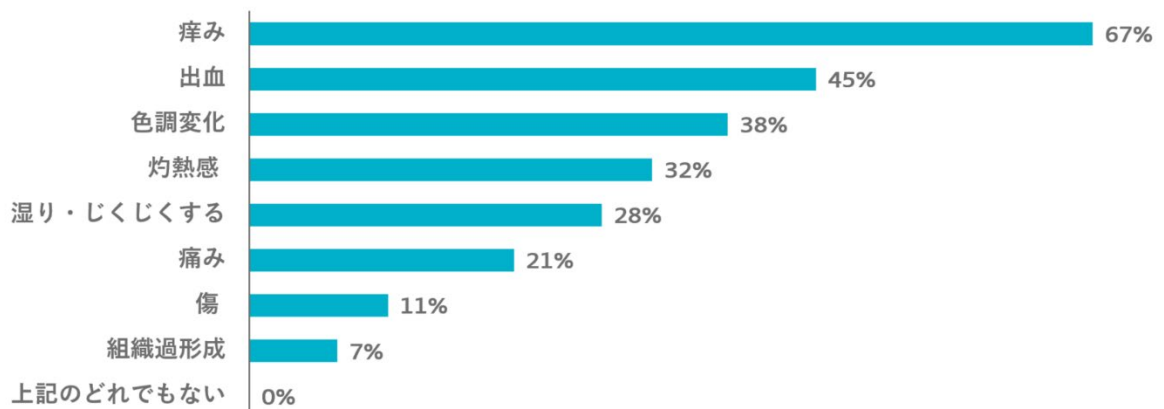
2016年、ストーマ保有者を対象に大規模調査を実施し、13か国の4,235名から回答を得ました。この調査は、ストーマ周囲の皮膚障害発生の要因となる人口統計学的背景を調査し、回答者が皮膚障害に対してどのように対処するかをすることで、ストーマ周囲の皮膚障害発生の要因を把握し、社会的・経済的影響への理解を深めることを目指しています。

ストーマ周囲の皮膚障害についての主な調査結果

(1) 皮膚障害の発生と症状

調査対象者の73%が、6カ月間に、以下に示す皮膚障害を経験していました（図1）。全てのストーマ周囲の体的特徴（ボディプロファイル）で、皮膚障害が発生していましたが、「へこんでいる」タイプのボディプロファイルでは、より多くの問題に悩まされていました。また、かゆみ(67%)と出血(45%)が最も一般的なPSC関連の症状であるといえます。

図1: ストーマ周囲の皮膚障害を経験した時の症状

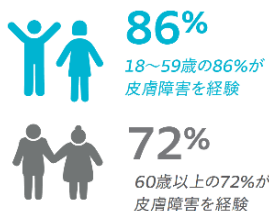
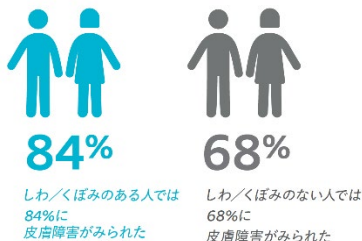


(2) 皮膚障害が発生したストーマ保有者の特徴

ストーマの種類：イレオストミーを造設したストーマ保有者がその他の種類に比べて、高い割合で皮膚障害が発生していました。



ストーマ周囲の状況：しわやくぼみがあるストーマ保有者は、ない人に比べ高い割合で皮膚障害を経験していました。

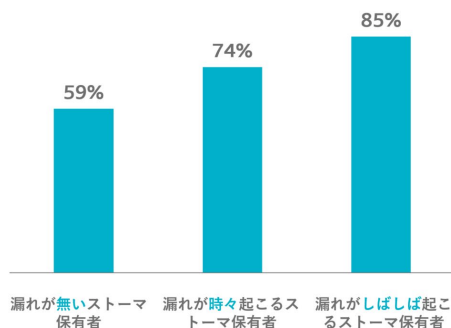


年齢：18～59歳のストーマ保有者は、60歳以上に比べ、高い割合で皮膚障害を経験していました。

(3) 皮膚障害の原因

ストーマ保有者の10名中約6名が、皮膚障害は皮膚に排泄物が付着することが原因だと考えていました。また、面板の下に排泄物が潜り込む頻度が多いほど、皮膚障害を経験する頻度が多くなることが分かります（図2）。

図2: 漏れの程度による皮膚障害の発生率

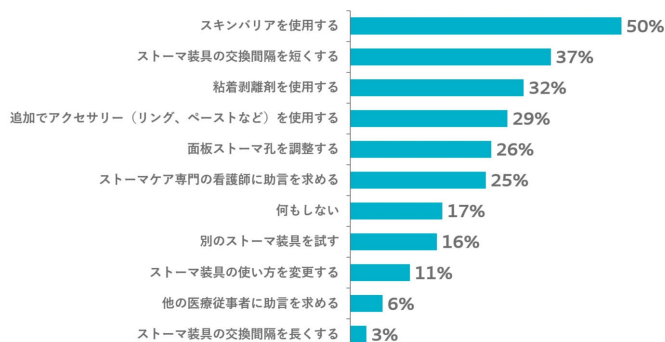


(4) 皮膚障害への対処

調査対象者の多くは、皮膚障害が発生すると、使用するストーマ用品が多くなるため、ストーマケアにかかるコストが高くなります。ストーマ保有者は平均3.3個のストーマ用品を使用していますが、皮膚障害が発生したストーマ保有者は、3.6個のストーマ用品を使用しており、皮膚障害が発生していないストーマ保有者は2.6個を使用していました。皮膚障害が発生したストーマ保有者の約半数はスキンバリア製品を使用し、37%は装具交換頻度が増加していました。

皮膚障害が発生した場合、調査対象者の31%がWOCNやその他の医療従事者に相談していましたが、17%は何もしなかったと回答しています（図3）。

図3: 皮膚障害への対処



まとめ

この調査結果は、過去20年間に報告された皮膚障害が発生する頻度に関する報告と一致しています。しかし、これまでに多くの新製品が発売され、さまざまな実践ガイドラインが報告されているにもかかわらず、ストーマ保有者が経験している皮膚障害を発生させないストーマケアは未だ明確に示されていません。

この調査結果から、皮膚障害の主な発生要因は、排泄物が漏れ、皮膚に接触することであることが明らかになりました。そのため、潜り込みや漏れを防ぐことは、ストーマ保有者の皮膚障害への負担を軽減する鍵となります。ストーマケアに従事する看護師が皮膚障害の発生要因への理解を深め、リスクのある患者を早期に発見することが大切です。皮膚障害を防ぐストーマケアの提供や患者指導を適切に実践することは、皮膚障害の発生を軽減し、医療費削減や患者の生活の質向上に貢献します。また、ストーマケアに従事する医療従事者やストーマ用品メーカーが協働し、皮膚障害を防ぐ新製品を開発する必要があるかもしれません。ストーマ保有者や看護師が皮膚障害の発生要因を理解し、積極的に対処できるツールを開発していくことも大切であると言えます。